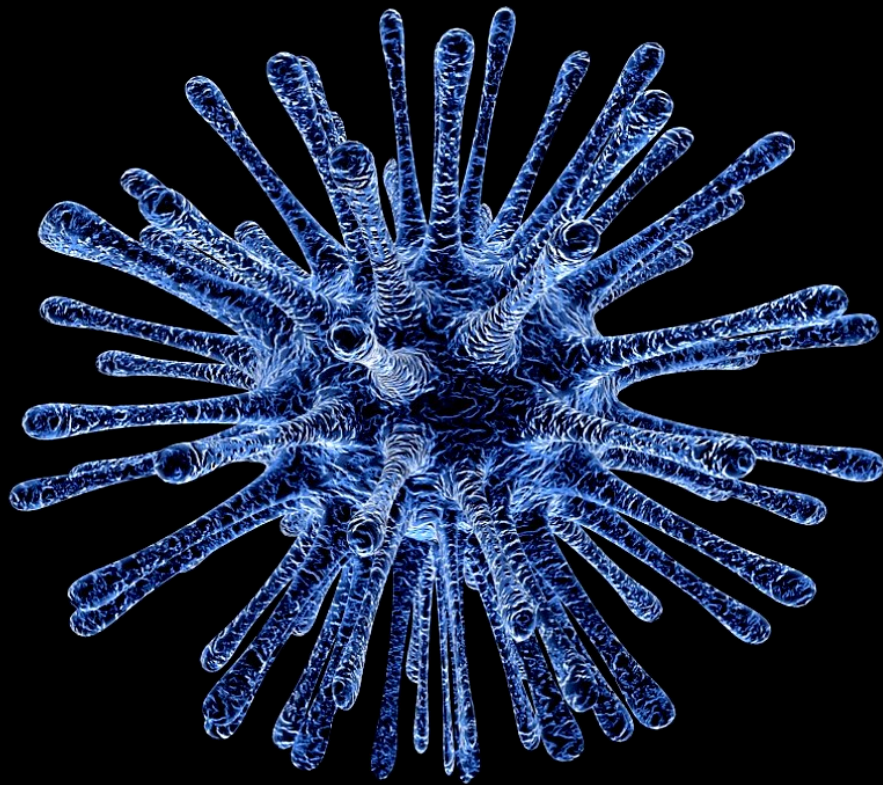
T 彼

SPARSP アンデミック

2 0 2 5-2 0 2 8

パブリックヘルスリスクコミュニケーターのAF未来シナリオ

T 彼 J OHNS H OPKINS C ENTERFOR H EALTH S ECURITY

プロジェクトチーム

Monica Schoch-Spana、PhD
先輩
ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティ

マシューP.シアラー、MPH
シニアアナリスト
ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティ

エミリー・K・ブランソン博士、MPH
准教授
テキサス州立大学

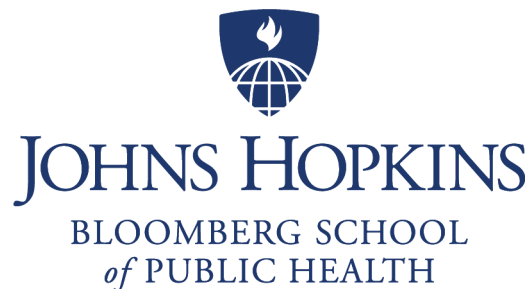
Sanjana Ravi、MPH
シニアアナリスト
ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティ

タラカークセル、博士号、マサチューセッツ州
先輩
ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティ

ハンナチャンドラー
MPH候補
コロンビア大学

Gigi Kwik Gronvall、PhD
先輩
ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティ

推奨される引用

Schoch-Spana M、Brunson EK、Shearer MP、Ravi S、Sell TK、Chandler H、GronvallGK。ザ・SPARSパンデミック、2025-2028：公衆衛生リスクコミュニケーターの未来的なシナリオ。メリーランド州ボルチモア：ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティ; 2017年10月。

Center for Health Security

ジョンズホプキンスセンターフォーヘルスセキュリティについて

ジョンズホプキンスヘルスセキュリティセンターは、革新的な奨学金、関与、および

に不可欠な組織、システム、ポリシー、およびプログラムを強化する研究
公衆衛生危機の防止と対応。センターはジョンズホプキンスの一部です

ブルームバーグスクールオブパブリックヘルスは、メリーランド州ボルチモアにあります。

詳細については、www.centerforhealthsecurity.orgをご覧ください。

目次

序文

応答

回復

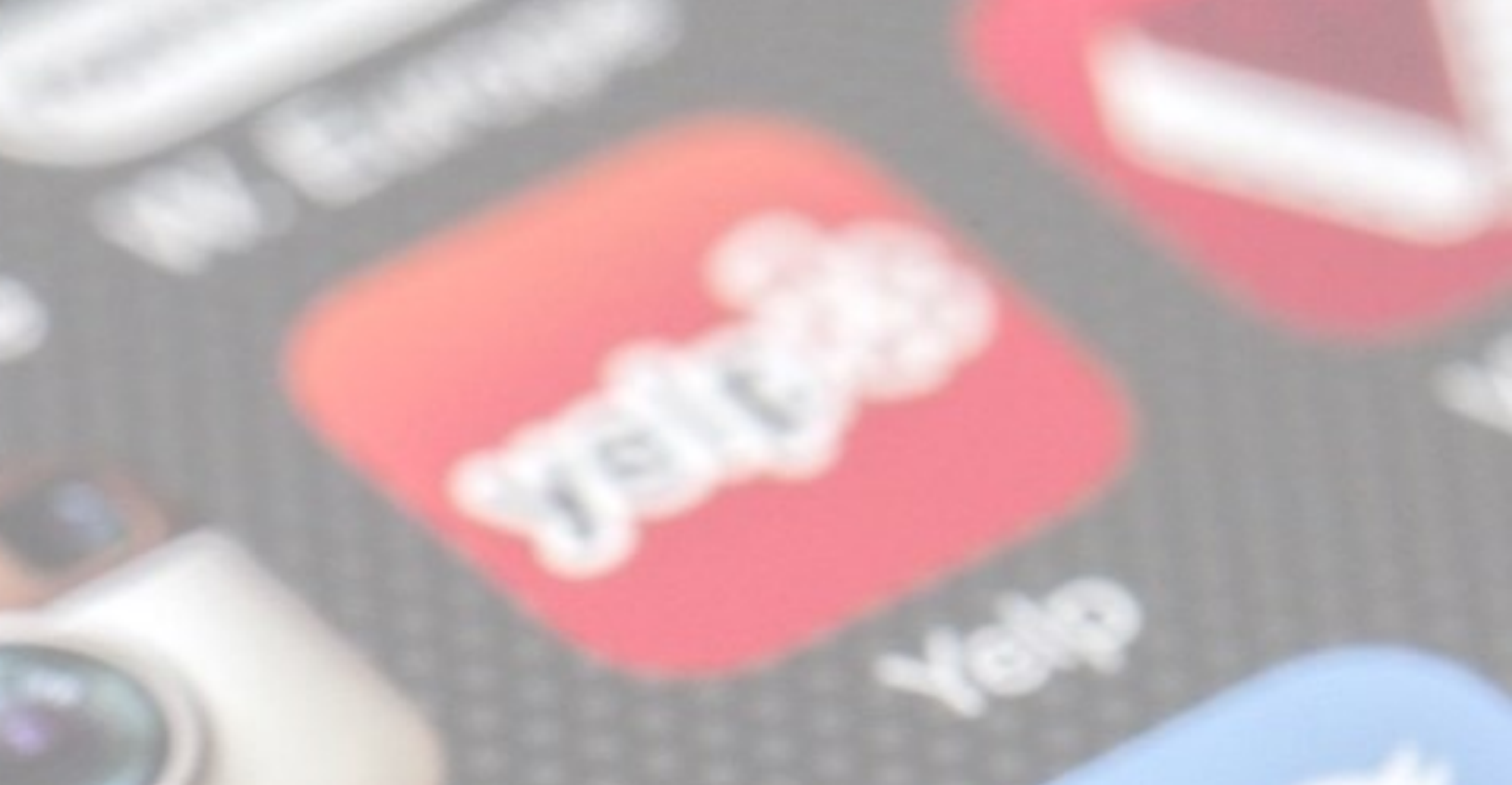
参考資料と付録

謝辞

プロジェクトチームは、Kunal Rambhia、Meredith Li-Vollmer、Shari Veil、Brad Smith、
Rita Obey、Ji Sun Lee、および医療に関する専門家ワーキンググループのメンバー
彼らの貢献とフィードバックのための対抗策（MCM）コミュニケーション戦略
このドキュメントの開発プロセス全体。

免責事項

これは、自然に発生する感染症の発生時に発生する可能性のある公衆衛生上のリスクコミュニケーションの課題を説明するために設計された架空のシナリオです。
新規および/または治験薬、ワクチンの開発と流通を必要とする、
治療法、または他の医学的対策。

感染性病原体、医療対策、キャラクター、ニュースメディアの抜粋、ソーシャルメディア
ここに記載されている投稿、および政府機関の回答は完全に架空のものです。

P はじめに

Possible Future in 2025年：T彼「Echo Cハンバー」

Unbridled Global Access to 私 情報 Cとoupled Social F 細分化と S妖精- A確認 Worldviews

シナリオの目的

次の説明は、それほど遠くない将来に発生する可能性のある医療対策（MCM）に関するコミュニケーションのジレンマを示す未来的なシナリオで構成されています。その目的は、緊急MCMの開発、配布、および取り込みに関するコミュニケーションが行われる動的で、しばしば矛盾する状況を想像するように、ユーザーに個別に、および他のユーザーとの話し合いの両方で促すことです。厳密にシミュレートされた健康上の緊急事態に従事している間、シナリオの読者はまた、精神的に応答を「リハーサル」する機会があります

彼らの行動の意味を比較検討する。同時に、読者は何を考える機会があります
今日の環境で実施される潜在的な対策は、将来、同等のコミュニケーションのジレンマまたはジレンマのクラスを回避する可能性があります。

生成目的

この前向きなシナリオは、OgilvyとSchwartzによって描かれた帰納的アプローチと演繹的アプローチの組み合わせによって開発されました。[1]

シナリオの時間枠（2025- 2028年）が最初に選択され、次にその期間までに出現した可能性のある主要な社会経済的、人口統計学的、技術的、および環境的傾向が特定されました。具体的には、将来の公衆衛生上の緊急事態に対する規制および公衆の対応に影響を与える可能性のある2つの主要な傾向が選択されました。2つは、社会的、政治的、宗教的、イデオロギー的、文化的な線に沿った集団間の断片化のレベルの違いです。次に、シナリオマトリックスが作成され、一定と予測不可能の両方を考慮して、これらの傾向によって形成された4つの可能な世界が示されました。

駆動力。

最終的には、広範囲にアクセスできる孤立した高度に断片化されたコミュニティで構成される世界
「エコーチェンバー」と呼ばれる情報技術への移行は、将来のシナリオが行われる未来として選択されま
した。この時点から、主題の専門知識、過去の医療対策危機の歴史的説明、現代のメディアレポート、社
会学、緊急事態への備え、健康教育、リスクと危機のコミュニケーションに関する学術文献を利用して、
シナリオ固有のストーリーラインが作成されました。これらの情報源は、将来の公衆衛生上の緊急事態で
発生する可能性のあるコミュニケーションの課題を特定するために使用されました。

この予想されるシナリオは、今後のイベントを予測することを目的としたものではありません。むしろ、それは、
リスクと危機のコミュニケーションの領域で深刻で頻繁に遭遇する幅広い課題を説明するもっともらしい物語とし
て役立つことを意図しています。

シナリオ環境

2025年に、世界は同時により接続され、さらに分割されました。ワイヤレスインターネットおよびインタ
ーネットアクセステクノロジーを含む新しいテクノロジーへのほぼ普遍的なアクセス
（IAT）：ブリーフケース、バックパック、または衣類に一時的に取り付けることができる薄くて柔軟なスクリーン
インターネットからコンテンツをストリーミングするために使用され、ニュースや情報を簡単に共有する手段を提供
してきました。しかし、多くの人は、情報を得るために頼る情報源を自己制限することを選択し、多くの場合、同意
した人とのみ対話することを選択しています。この傾向により、クリークが互いに孤立し、これらのグループ間およ
びグループ間のコミュニケーションがますます困難になっています。

政府の見地からすると、現政権は2025年1月に就任したランドールアーチャー大統領が率いる。アーチャー
はジャクリンベネット大統領の下で副大統領を務めた（2020-
2024）、健康上の懸念のために2期目を求めなかった。二人は親密なままであり、ベネットはアーチャー大統
領の親密で非公式な顧問として行動します。保健社会福祉省長官のシンドラ・ネーゲル博士を含むアーチャー
大統領の上級職員の大多数は、ベネット政権からの持ち越しです。最初のSPARSの発生時に、Nagelは3年余
りこの役職に就いていました。

より具体的には、MCMコミュニケーションに関しては、米国保健社会福祉省（HHS）、米国疾病予防管
理センター（CDC）、食品医薬品局
行政（FDA）、および他の公衆衛生機関はますます多様な範囲を採用しています

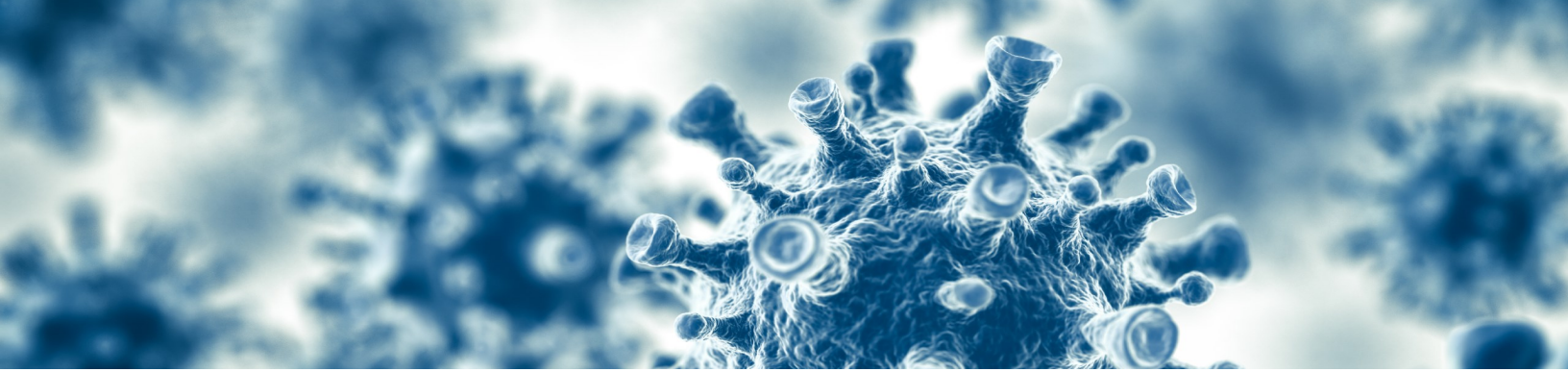
Facebook、Snapchat、Twitterなどの既存のプラットフォームを含むソーシャルメディアテクノロジー、
また、ユーザーが他のプラットフォームから選択したメディアコンテンツを集約およびアーカイブし、共通の関心や現在のイベントに基づいてクラウドベースのソーシャルグループと通信できるようにするプラットフォームであるZapQなどの新しいプラットフォームもあります。連邦および州の公衆衛生組織も、政府機関固有のアプリケーションを開発し、政府機関のWebサイトを維持および更新するための取り組みを強化しています。

しかし、彼らの技術的グリップに挑戦しているのは、新しい情報とメディアプラットフォームの多様性と、ソーシャルメディアコミュニティの進化のスピードです。さらに、これらの機関は技術的に精通していて有能ですが、「多言語」スキル、文化的能力、およびあらゆる形態のソーシャルメディアに存在する能力の点で依然として遅れをとっています。さらに、これらの機関はかなりの予算の制約に直面しており、前述のプラットフォーム全体でプレゼンスを拡大し、コミュニケーションワーカー間のソーシャルメディアリテラシーを高め、重要なメッセージの一般の人々の取り込みを改善する取り組みをさらに複雑にします。

シナリオの編成と使用

このシナリオは、関連する公衆衛生リスクコミュニケーションの課題を説明するために設計されました
感染症のパンデミック時の緊急医療対策の配布。ストーリーは時系列で構成されており、各章は主要なコミュニケーションのジレンマとそれに対応するディスカッションの質問の扱いで終わります。一部の質問は、連邦政府機関を代表するリスクコミュニケーターが直面する課題を対象としていますが、他の質問は、州および地方のリスクコミュニケーターにより関連する問題に対処しています。

そのため、ユーザーはシナリオを卓上演習として実行することが最も役立つ場合があります。あるいは、ユーザーがシナリオ全体を時系列で進めるのではなく、選択したコミュニケーションのジレンマを調べることを好む場合は、ストーリーの応答フェーズと回復フェーズのタイムライン、およびコミュニケーションのジレンマと対応するページ番号。

R 応答

THE ST. PAUL CHRONICLE

www.stpaulchronicle.org MINNESOTA'S FAVORITE NEWSPAPER *October 17, 2025*

Third Death in a Week Due to 'Unknown Illness' in Twin Cities

Sonja Dixon, 42, West St. Paul

Sonja Dixon, 42, of West St. Paul was admitted to Regions Hospital on October 15 with severe flu-like symptoms. When her laboratory test results came back negative for influenza and her condition continued to worsen, even with antiviral treatments, doctors raced to save her. Mrs. Dixon developed pneumonia and ultimately died late in the evening on October 19.

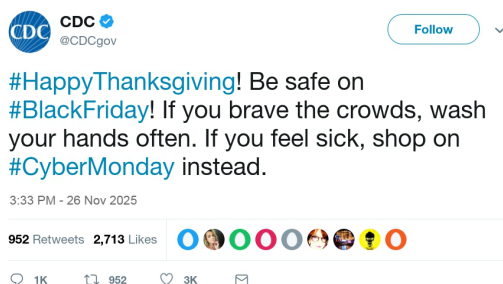
Her family was not available for comment, but Reverend Reginald Moore of the First Baptist Church of St. Paul expressed his condolences. "We're praying for Sonja's family and loved ones. This has been a difficult flu season already for our community, but we are continuing to support each other," said Reverend Moore, referring to the deaths of Mary Gold, 67, and Arnold Simpson, 74, two other members of his congregation who passed away from influenza-related complications the week prior.

The deaths of all three victims are now under investigation by public health authorities. St. Paul-Ramsey County and Dakota County Public Health Departments are coordinating closely with their respective Medical Examiners to identify possible links between the victims.

2025年10月中旬、ミネソタ州セントポールのファーストバプテスト教会のメンバーの間で3人の死者が報告されました。教会員のうちの2人は最近、フィリピンへの宣教師旅行から戻ってきました。そこで彼らは地域の洪水の犠牲者に救済を提供しました。三人目は、教会のグループと一緒にフィリピンに旅行したが、自分自身は軽度の病気であった教会員の母親でした。患者の報告された症状に基づいて、医療提供者は当初、彼らが季節性インフルエンザで死亡したと推測しました。

その秋、毒性があり広範囲に及ぶ。しかし、臨床検査ではインフルエンザは陰性でした。できません
ミネソタ州保健局の公衆衛生研究所の職員である原因物質を特定する-

toryは、患者の臨床検体を米国疾病予防管理センター（CDC）に送りました。

科学者は患者がインフルエンザにかかっていないことを確認しました。あるCDCの科学者は、東南アジアでの新しいコロナウイルスの出現を説明する最近のProMedディスパッチを読んだことを思い出し、パンコロナウイルスRT-PCRテストを実行しました。1週間後、CDCチームは、3人の患者が実際に、最初のクラスターがあった都市の後に、セントポール急性呼吸器症候群コロナウイルス（SPARS-CoV、またはSPARS）と呼ばれる新しいコロナウイルスに感染していることを確認しました。症例の数が特定されました。

CDCは状況を注意深く監視し、東南アジアのパートナーと協力してSPARSのケース定義を迅速に作成しました。CDCがそのウェブサイトで実用的なケースの定義を公開してから4週間以内に、ミネソタ州全体と他の6つの州で200近くのSPARSの疑いのあるケースが報告されました。インフルエンザの季節が始まったばかりであり、SPARS-CoV感染の迅速な診断テストがまだ利用できないことを考えると、CDC当局は確信が持てませんでした

これらが実際にSPARSの真のケースである場合。

それにもかかわらず、11月17日、HHSのCindra Nagel事務局長は、世界保健機関（WHO）に、米国のSPARS事件の集団について通知しました。

SPARSの感染は飛沫拡散を介して発生すると判断されたため、CDCは当初、すべての人が手指衛生を熱心に維持し、汚染されている可能性のある表面を頻繁に消毒することを推奨しました。CDCの職員はさらに、重度のインフルエンザ様症状のある人は誰でも直ちに医師の診察を受けるように促しました。公衆衛生当局は、来たる感謝祭の休日とブラックフライデーを懸念していました

ショッピング活動はの普及を促進するだろう

SPARS、しかし彼らは気づいていることを確信し続けました-

季節性インフルエンザについて毎年配布される予防メッセージは、疑わしい症例の隔離手順と組み合わせて、SPARSの蔓延に対抗するのに効果的です。これらのメッセージは、Facebook、Instagram、Reddit、Twitter、ZapQなどのさまざまな従来のソーシャルメディアソースを介して広まりました。

発生のこの時点でのSPARSの重症度についての多くのアメリカ人の間の懸念は適度に高かった。公衆の懸念は、病原体の明らかな病原性によって悪化しました。SPARSの発生当初、医師によるこの病気の理解は、入院と広範な治療を必要とする肺炎または低酸素症を引き起こす非常に重篤な症例に主に起因していました。咳、発熱、頭痛、倦怠感などの症状を引き起こした軽度の病気は、インフルエンザにかかった人にインフルエンザと認識されることが多く、その結果、医療関係者によって治療も診断もされませんでした。その結果、初期の致死率の推定値は膨らみました。11月下旬までに、CDCは最初の推定SPARS致死率を報告しました。

4.7%（対照的に、WHOは、SARSの全体的な致死率は14〜15%であり、64歳以上の人々では50%を超えていると報告しました。
軽度のSPARS症例の推定では、致死率はわずか0.6%でした）。

パンデミックの開始時には評価されなかったが、発生の進行に影響を与えたSPARSウイルスの2つの追加機能も、このイベントのレビューで考慮することが重要です。第一に、ウイルスは潜伏期間（4〜5日）と比較して潜伏期間（7〜10日）が延長されていました。したがって、感染した人は、病気自体の症状を示す前に、最大1週間近くウイルスを広める可能性があります。その結果、病気のSPARS患者を隔離することは、他のより特徴的な呼吸器疾患に感染した患者を隔離するよりも効果が低いことが証明されました。第二に、SPARSによる罹患率と死亡率はどちらも成人よりも子供で有意に高かった。

C OMMUNICAT ION D 補題

Engendering Publ ic T rus t and a
Cr isisis St ill Evol vingのときの自己感覚f-Eff icacy
そして、癒しの情報は不完全です

F OOD FOR T HOUGHT

1）保健当局は、「健康上の脅威とは何か」などの重要な情報に対する一般の要求にどのように最もよく応えることができるでしょうか。と「私はそれについて何を知っていますか？」危機がまだ続いていて、すべての事実がわかっているわけではないときは？

2）ソーシャルメディアの投稿の傾向を監視することは、進化する健康危機の際に人々の情報ニーズを満たすための取り組みにどのようなメリットをもたらしますか？

3）不確実で恐怖を植え付ける状況において、自己防衛行動（感染管理対策など）に関する情報を共有することは、どのような医学的および士気を高める目的で一般市民に役立ちますか？

AP OSSIBLE C URE

C ハプター T WO

CDCヘルスアラートネットワークを介して配布2025年12月15日13：00ET（1:00 PM ET）CDCHAN-00528

概要

疾病管理予防センター（CDC）と州保健局は、現在26の州と他のいくつかの国で報告されているセントポール急性呼吸器症候群コロナウイルス（SPARS-CoV）の出現を調査しています。このHANアドバイザリの目的は、この流行について公衆衛生部門と医療施設を更新し、医療提供者にガイダンスを提供することです。現時点では、FDAとNIHは潜在的な治療オプションを評価しています。証拠は、抗ウイルス薬が利益をもたらす可能性があることを示しています。他のコロナウイルス患者を対象とした以前の試験に基づくと、抗ウイルス薬のカロシビルが主要な候補です。ただし、SPARSの症例については、有効性も安全性プロファイルも決定されていません。個人用保護具（PPE）および臨床ケアプロトコルに関する詳細なガイダンスを以下に示します。

SPARSのパンデミックの初期には、公衆衛生と医療の専門家は、症例の特定と隔離によって発生を封じ込めることができると期待していました。しかし、この戦略は当初の期待ほど効果的ではないことがすぐに明らかになりました。第一に、軽度の症例を特定する際の課題は、隔離プログラムの影響を制限しました。SPARSの初期症状はインフルエンザに非常に似ていたため、

SPARSに感染した多くの人は、インフルエンザにかかっただけだと思って、すぐに治療を求めませんでした。

幸いなことに、インフルエンザにかかっていると思っていた人の中には、自宅で隔離することを選択した人もいました。

家庭外へのSPARSの普及。しかし、感謝祭の休暇とブラックフライデーの間、家に残っている感染者は少なくなり、それによって中西部を越えてSPARSを広めることができました。第二に、SPARSの伝播は、まだ症状が現れていない感染者によって加速されました。一緒に、これらの要因は報告されたケースの数の重要なスパイクにつながりました。

12月中旬までに、SPARSの症例が26の州で報告され、メキシコ、カナダ、ブラジル、日本、およびいくつかのヨーロッパ諸国の保健省は、WHOに数十の輸入症例を通知しました。クリスマスと年末年始に旅行する公衆衛生界では、世界的な大流行を引き起こすことが広く懸念されていました。11月25日にSPARSの流行をPHEICと宣言したWHOは、この病気が国際的にさらに広がるのを防ぐことに積極的に取り組んだ。しかし、WHOの取り組みは、もともとインフルエンザや他の同様の呼吸器病原体（衛生、社会的距離、疑わしい症例の隔離など）のために設計された介入を促進しました。これらはすべてSPARSに対して効果がありませんでした。

CDCは当初同様の戦略に従いました。11月と12月のケースの急増、
しかし、この病気に対する国民の関心が高まった。12月下旬までに、
米国のSPARSは非常に高く、この病気の治療法を特定するようにという強い国民の圧力がありました。

当時、SPARSの治療法やワクチンはヒトでの使用が承認されていませんでした。重症急性呼吸器症候群（SARS）および中東呼吸器症候群（MERS）の治療薬として最初に開発された抗ウイルス薬カロシビルは、少数の重症SPARS症例を治療するためにFDAによって米国で認可されたいくつかの抗ウイルス薬の1つでした。その拡張アクセスプロトコルの下で。カロシビルは他のコロナウイルスに対する有効性のいくつかの証拠を示しており、潜在的な有害な副作用についての懸念にもかかわらず、薬の少量の在庫はすでにFDAの承認を見越して戦略的国家備蓄（SNS）の一部でした。SPARSの急速な普及に直面した潜在的な治療に関する具体的な情報の欠如は、メディア、一般市民からの要求を促しました。

C OMMUNICAT ION D 補題

公開および政治的圧力への対応必ず共有する
開発ピペリンの潜在的なMCMについて情報を提供しますが、情
報を提供します。
不完全または専有の可能性があります

F OOD FOR T HOUGHT

1）公衆、メディア、および/または政治指導者が、潜在的な治療オプションに関する情報が差し控えられていると感じた場合、公衆衛生機関はどのようなリスクに直面しますか？

2）危機に先立って、公衆衛生機関が緩和するためにどのようなアウトリーチを実行できるか
透明性の欠如を認識しましたか？そのような認識が危機の中で現れた場合、それはどのように否定されるでしょうか？

に： グレッタ・スミスソン、動物衛生担当副社長
から： ワクチン研究部門ディレクター、マーカス・トンプソン博士
RE： ヒト集団における蹄哺乳類呼吸器ウイルスワクチン番号14（HMRV-vac14）の使用

日付： 2025年12月30日
添付ファイル： 1.HMRV-vac14の有効性と副作用
2.有蹄哺乳類の呼吸器コロナウイルス発生モデルの推定（2021年）

問題の背景
あなたのオフィスは、GMI動物集団における以前のSPARSのような病気、および進行中のSPARSパンデミックに対する潜在的な予防接種または治療への影響に関する情報を要求しました。

概要
2021年に、コロナウイルスがリージョン7（東南アジア）の有蹄哺乳類の集団で発生を引き起こしました。私たちの研究者は、感染に対する効果的なワクチン（HMRV-vac14）を社内で開発および製造しました。その後の承認と使用により、この地域での発生は無事に終了しました。感染の予防には主に効果的ですが、足の腫れなどの重篤な副作用があります。重度の関節痛; 発作、発作障害、または死亡を引き起こす可能性のある脳炎が時折発生しました（添付資料1）。リージョン7に必要な数百万のワクチン接種を考えると、これは動物の個体数に測定可能な損失をもたらしました。しかし、これらは呼吸器感染症自体からのものと比較して許容可能でした（添付資料2）。

現時点では、2つのコロナウイルスがどれほど類似しているか、またはHMRV-vac14（または類似のワクチン）がヒト集団に有効であるかどうかは不明です。HMRV-vac14は、内部使用のみを目的として開発されているため、動物または人間での使用について、政府機関によってテストまたは承認されていません。

一部の患者がカロシビルへのアクセスを拡大することを承認した直後、FDAは、東南アジアなどで牛と養豚場を運営する多国籍家畜コングロマリットであるGMIによって開発された動物ワクチンの報告を受けました。2021年以来、牧場主はフィリピンやその他の東南アジア諸国の牛や豚のSPARSのような呼吸器コロナウイルス病を予防するためにワクチンを使用してきました。GMIから提供されたデータは、ワクチンが牛、豚、その他のほ乳類のSPARSのような病気の予防に効果的であることを示唆していましたが、内部試験では、脚の腫れ、重度の関節痛、発作や死亡につながる脳炎など、いくつかの気になる副作用が明らかになりました。これらの副作用を経験している動物はすぐに殺されたので、

実行可能な代替案がなく、SPARSに関連する潜在的に高い罹患率と死亡率（致死率はまだ4.7%と考えられていた）を考慮して、米国政府はワクチンに関してGMIに連絡しました。東南アジアの家畜に影響を与えるコロナウイルスがSPARS-CoVと密接に関連していることが実験室試験で確認された後、米国は

GMIの動物用ワクチンの開発および試験プロセスの広範なレビュー。その後まもなく、
連邦保健当局は、GMIモデルに基づくSPARSワクチンを開発するために、米国に本拠を置く製薬会社であるCynBioと契約を結びました。契約には、ワクチンが安全で人間の使用に効果的であることを保証する安全性試験の要件が含まれていました。また、国立衛生研究所（NIH）からかなりの資金を提供し、FDAによる優先審査の規定が含まれていました。さらに、HHSのネーゲル長官は原則として公的準備および緊急時対応法（PREP法）を発動することに同意し、それによりワクチン接種者が何らかの悪影響を経験した場合にCynBioおよび将来のワクチン提供者に責任保護を提供します。

C OMMUNICAT ION D 補題

を保証するための政府プロセスにおける信頼の維持
安全で効果的なワクチンの開発
新規の脅威が発生したとき

F OOD FOR T HOUGHT

1）連邦保健当局は、他のワクチンと同じ安全性と有効性の基準を満たしているにもかかわらず、迅速なSPARSワクチンの開発とテストのプロセスが何らかの形で「急いで」本質的に欠陥があると人々が見ないようにするにはどうすればよいでしょうか。

2）連邦保健当局は、SPARSワクチン製造業者の責任保護が個人の自由と幸福を危うくすることを提案する批評家にどのように対応するでしょうか？

3）ワクチンが広く利用可能になると（「ライン特権の頭」の章を参照）、公衆衛生はどのようになりますか
コミュニケーターは、人々が新しいSPARSワクチンを受け入れるかどうかについて情報に基づいた独自の決定を下せるようにするという「ベストプラクティス」の原則を実装していますか？

4）長期的な影響がまだわかっていない場合、保健当局が新しいSPARSワクチンの潜在的なリスクについて国民を安心させすぎた場合の潜在的な結果は何ですか？

U SERS B EWARE

C ハプター F 私たちの

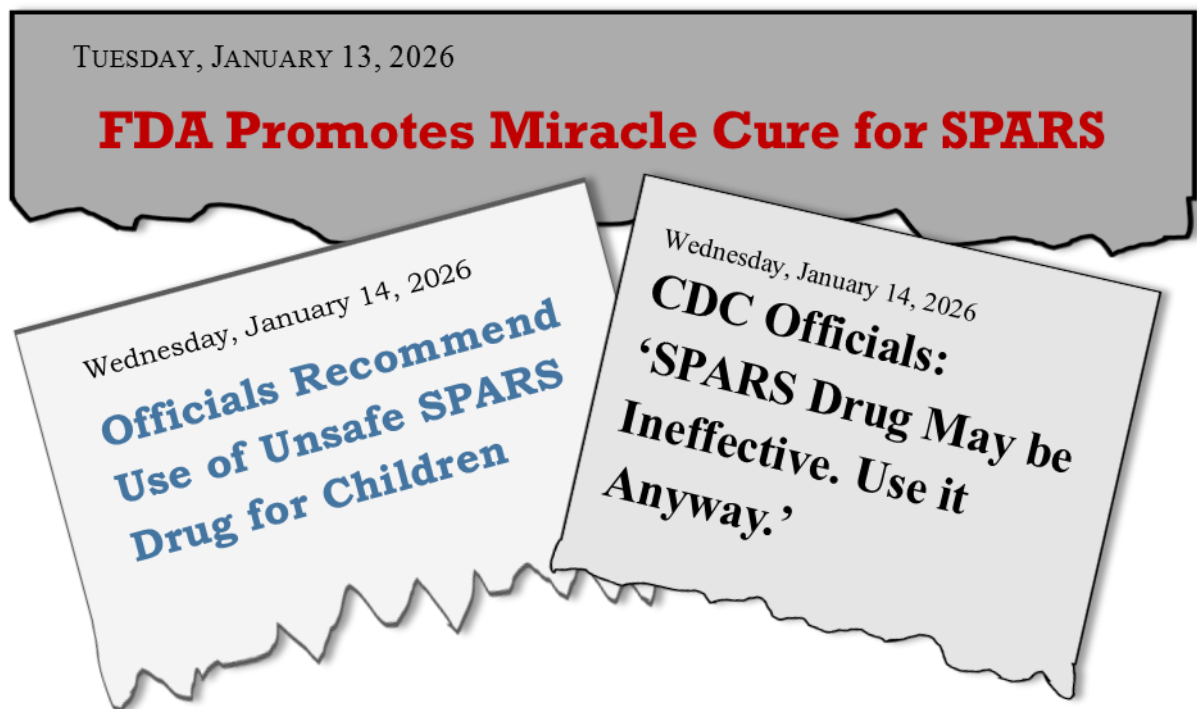
TUESDAY, JANUARY 13, 2026

FDA Promotes Miracle Cure for SPARS

Wednesday, January 14, 2026

Officials Recommend Use of Unsafe SPARS Drug for Children

Wednesday, January 14, 2026

CDC Officials: 'SPARS Drug May be Ineffective. Use it Anyway.'

カロシビルによるSPARS患者の治療に成功したという限られた証拠に続いて、FDAは、米国でSPARS治療薬としてこの薬の緊急使用許可（EUA）を発行しました。KalocivirはSPARSに対してプラスの影響を及ぼしましたが、予備データは、統計的に有意な数の成人の症例でも激しい胃のけいれんを引き起こしたことを示しました。さらに、当初の希望は、カロシビルが病気の治療に加えて、感染を予防または軽減することでしたが、そうではありませんでした。それにもかかわらず、実行可能なSPARS治療へのアクセスに対する高い国民の需要のために、公衆衛生およびヘルスケア機関は、カロシビルの既存のSNS在庫（数百万）から引き出しました。

薬のさらなる生産が始まることができるまで。

SPARSを治療するためのKalocivirの使用に関する公式発表は、2026年1月初旬に行われました。メッセージを調整するために広範な省庁間の努力がなされましたが、メディアによってわずかな違いが強調され、異なるメッセージの出現につながりました。たとえば、FDAは、KalocivirがSPARSの治療として緊急使用プロトコルの下で認可されていることを説明し、医療提供者およびその他の利害関係者が潜在的な副作用に関する情報を含むFDA承認の添付文書を確認することを推奨しました。CDCの発表には同様の情報が含まれていましたが、CDCのスポークスパーソンが放送で直接質問されたとき、彼はKalocivir試験の予備的な性質を説明し、SPARSに対する薬の有効性は不明のままであると強調しました。一方、NIHの発表は

政府機関の公式のコミュニケーションチャネルに加えて、Kalocivirに関するメッセージも国および地方のメディア組織によって配布されました。特定に応じて
これらの通信社が使用した政府の情報源では、彼らの報告はわずかに異なっていました。これらのメッセージが
順番に、ソーシャルメディアを介して共有され、彼らは分岐し続けました。CDCのスポークスパーソンのインタビューを引用して、ソーシャルメディアの一部の個人は、Kalocivirが徹底的にテストされておらず、潜在的に危険であると主張しました。CDCとNIHの発表の一部を引用している他の人々は、カロシビルは大人にとっては安全であるが、子供にとってはおそらく危険であると誤って主張しました。さらに他の人々は、なぜこの薬が米国の全人口に予防的に投与されていなかったのか疑問に思いました。当時、カロシビルの安全性と有効性に関する実際のデータはほとんど存在していなかったため、政府機関はソーシャルメディアで絶えず多様化する一般市民の反応に対応するのに苦労しました。

Kalocivirが3か月間公に使用された後、FDAは、薬の有効性と副作用の発生率に関する最新情報を発表することができました。しかし、この情報は一般大衆の大部分にとって遅すぎました。多くの個人がカロシビルで治療されたウィスコンシンでは、地元の市民が薬物のリアルタイムの印象を投稿、ツイート、チャット、ザッピングしました。薬が効果的で命を救うと主張する人もいましたが、ほとんどの人は効果がないと報告し、薬が頭痛、吐き気、体の痛みなどの追加の副作用を引き起こしたと主張しました。これらの副作用に関するソーシャルメディアの報道は、ミルウォーキー地域で非常に遍在していたため、地元の報道記者は

FDAの最新の安全情報に公然と疑問を呈し、ある記者は、FDAが副作用が何であるかさえ知っているかどうかを生放送で尋ねさえしました。一方、カンザス州ローレンスでは、地元メディアが、ソーシャルメディアの反応を情報源として使用して、KalocivirがSPARSの治療にどれほど成功したかに焦点を当てました。

2026年1月下旬までに、WHOは世界42か国でSPARSの持続的な感染を報告しました。この病気は、弱い医療制度、栄養失調、および重複感染がSPARSの影響を大幅に悪化させた低所得国で特に壊滅的であることが判明しました。米国では、状況はそれほど悲惨ではありませんでしたが、SPARSに対する国民の関心は依然として高いままでした。この不安は、全国でカロシビルの広範な使用をもたらし、多くの市民が、マイナーなSPARSのような症状でさえ積極的に治療を求めるようになりました。地元の病院や診療所に負担をかけていますが、SPARSのような症状の自己報告の増加は、この病気の特定の疫学的特徴を明らかにするデータを提供しました。CDCは、このデータの分析を公開しました。これは、最初の4と比較して、1.1%というはるかに低い致死率を示しています。7%の見積もり。この情報は公衆衛生当局にとっては安心でしたが、国民の懸念を和らげることはほとんどありませんでした。

さらに、一般の人々のすべてが同じようにSPARSに反応したわけではありません。たとえば、ニンニクやビタミンなどの自然治癒が「未試験」の薬よりもSPARSの治療に効果的であると感じた個人の小グループは、治療オプションとしてカロシビルを受け入れる可能性がはるかに低く、さらにはSPARSのような症状の治療。同様に、一部の少数民族、特に大規模で緊密なコミュニティに密集して住んでいた民族グループも、カロシビルを拒否しました。

この抵抗の一部は、特に一部の少数民族グループの間で、公衆衛生機関の疑わしいメッセージに起因していました。ニュースレポートとプレスリリースは複数の言語で提供されていましたが、すべてのメッセージがそれらを受け取る人々にとって文化的に適切であるとは限りませんでした。これの最も良い例の1つは、米国南西部のナバホ族の間で発生しました。

2026年2月初旬、新たに設立されたナバホ地域インディアンヘルスサービス（NAIHS）のディレクター
CDCによって提供されたメッセージを受け取り、これを修正して、より恐怖に基づいたものにしました。彼の方法

CDCメッセージからタグラインを取得すること（「SPARSのような症状が発生した場合は医療提供者に相談してください」）と、最後に「SPARSはあなたを殺すことができる」というフレーズを追加することを含みました。監督の意図はSPARSの治療を求めるナバホ族の数を増やすことでしたが、部族地域全体に広く配布された修正されたメッセージは裏目に出ました。次の数週間で、SPARSのような症状に対するNAIHSからの治療のために前に出たナバホ族は少なくなりました。間違いを感知して、監督は部族の指導者に手を差し伸べました。集中的な対話の後、NAIHSのメッセージは、生命を維持し、死への焦点を避けるというナバホの信念を反映するように変更されました。具体的には、

Kalocivirに対する地域の反応のばらつきと、発生自体に関する不安の持続により、地域の公衆衛生機関は、論争に積極的に取り組み、地域の人々と公衆衛生のアウトリーチを調整しようとしました。これらの地域の公衆衛生アウトリーチ活動の多くは、推奨される健康行動へのコンプライアンスを高めることに成功しましたが、拡大する全国的な抗カロシビル/自然医学運動を含むいくつかの特別利益団体に到達するのに効果的ではありませんでした。
それは全国に分散していて、地方に集中していませんでした。

C OMMUNICAT ION D 補題

Harmoni zi ng I ncons is tent Messaging Acros s Heal th Agencies

公的医療メッセージをアドレスに適切に調整する
特定のコミュニティの懸念と文化

F OOD FOR T HOUGHT

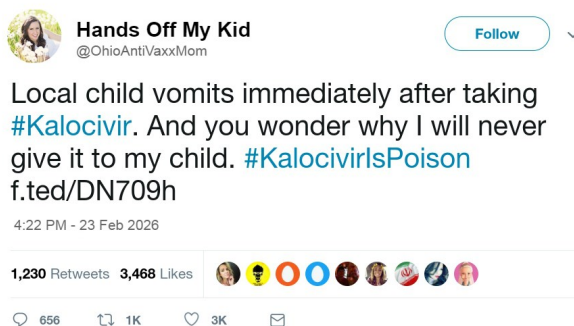
1）危機前のパートナーシップと提携により、カロシビルの安全性と有効性に関する一貫性のないメッセージの可能性をどのように回避できたでしょうか。MCMの安全性と有効性に関する整合性のない公式メッセージの潜在的な影響は何ですか？

2）ソーシャルメディアを使用して、カロシビルの有効性と副作用に関するデータを収集する従来の方法をどのように補完できたでしょうか。

3）単語ごとの翻訳と文化的に有能なMCMメッセージの違いは何ですか？文化的に有能なMCMガイダンスを提供できないことによる、社会的および公衆衛生への潜在的な影響は何ですか？

G OING V IRAL

C ハプター F IVE

Kalocivirに関連する負の副作用の報告は、2026年2月に勢いを増し始めました。負の反応にもかかわらず、公衆衛生機関は、ノースカロライナ州の3歳の少年のビデオがSPARSで入院した2月まで進歩を続けました。そして、カロシビルを服用した直後に発射物の嘔吐を開始しました—ウイルスに感染しました。ビデオクリップでは、少年の医師が小児用の液体カロシビルを投与しています。数分後、少年は大量の嘔吐を開始し、窒息し、その後、母親がバックグラウンドで叫びながら失神します。

このクリップは、＃を含むさまざまなキャプションで米国全体で広く共有されました *NoKalocivir* および＃ *NaturalIsBetter*。 ハッシュタグは、これらの見解を共有する人々がお互いを見つけ、ソーシャルメディアで一緒にバンドを組む方法を提供しました。彼らはZapQやその他のオンラインディスカッショングループを結成し、投稿された瞬間にスマートフォンやインターネットアクセステクノロジー（IAT）を介してグループメンバーからのメッセージを受信できるようにしました。これらのZapQグループの一部のメンバーは、ジャケット、コート、バックパックの背面にフルサイズ（12 "x12"）のIATスクリーンを使用して、すぐ近くにいるすべての人が嘔吐ビデオをループできるようにしました。

ソーシャルメディアの急増は、地方、州、および連邦政府機関の能力を急速に圧倒しました。
応答し、公衆衛生および医療の推奨事項への準拠が大幅に低下しました。ザ・

FDAや他の政府機関は、相関関係は因果関係と同等ではなく、嘔吐はカロシビルの既知の副作用ではないことを国民にすぐに思い出させようとしました。このメッセージは、科学的には正確ですが、適切な共感を欠いており、国民の高まる恐れを和らげることができませんでした。その結果、それはほとんど無視され、国民の関心は高まり続けました。

翌週、FDA、CDC、およびその他の政府機関の職員は、国民の恐怖を鎮めるために、いくつかの伝統的なソーシャルメディアプラットフォームでKalocivirに関する前向きで正確な情報を宣伝しようとしました。ただし、このメッセージングは 、タイミングと配布の両方の点で最適とは言えませんでした。政府が取っている間

感情的に適切なメッセージを提供するために数日、ソーシャルメディアでのバイラルビデオの普及は指数関数的に速くなりました。政府が対応するまでに、
国はすでに嘔吐ビデオを見て、独自の結論を出していました。さらに、彼らの
回答では、政府機関はすべてのソーシャルメディアプラットフォームに効果的にアクセスできませんでした。たとえば、ZapQグループはメンバーシップが閉じられており、通常はグループメンバーからの招待を介してのみアクセスできました。

これらの問題は両方とも、政府機関がソーシャルメディアの対応のタイミングと影響を改善するように促しました。CDCやHHSを含むほとんどの政府機関は、ソーシャルメディアやその他のコミュニケーション活動を調整するように指示された老舗の事務所を持っていましたが、個々の機関のプロトコルやさまざまな機関の文化により、メッセージが遅れたり、場合によっては調整されなかったりしました。この状況をさらに悪化させたのは、政府の個々のメンバーによって行われたソーシャルメディアへの働きかけでした。議員の何人かはツイッターのようなサイトで非常に活発で、公の立場を装って自分のオフィスを活用して自分の個人的な信念を広めることができました。

5月下旬、これらの個人の1人、元医師で現在アイオワ州の上院議員が、
ツイートによる2番目の嘔吐ビデオ。Kalocivirは100％安全で100％効果的です。
相関関係は因果関係と同じではありません！」何万回も共有された後、ツイートは

従来のメディアによって取り上げられました。これは、メッセージの感情は正しいものの、カロシビルには潜在的な副作用があり、SPARSの治療に完全には効果がなかったことを明確にする必要があるFDAおよびCDC当局者への複数の厄介なニュースインタビューにつながりました。

さまざまな政府関係者や団体による多くの支援活動にもかかわらず、政府は最終的に最初の嘔吐ビデオに対する適切な対応を開発することができませんでした。2026年6月初旬までに、このビデオは、ビデオの衝撃要因を高く評価した全国の中学生と高校生の間で最も共有されたZapクリップになりました。その結果、一般市民は、最初の事件とその後の対応から数か月間、反カロシビルのメッセージに絶えず再暴露されました。

C OMMUNICAT ION D 補題

の力への対応
Di st res sの子供たちのグラフィック画像：
1つのストーリーが人口レベルの問題に昇格

F OOD FOR T HOUGHT

1）MCMの副作用に関する科学を伝えるだけでは、カロシビルのようなMCMに関する一般の人々の恐れや懸念に対処するのに十分ではないのはなぜですか？思いやり、懸念、共感を持ってコミュニケーションすることも重要なのはなぜですか？

2）KalocivirのようなMCMについての公開討論や認識に影響を与えるために重要な、従来のメディアやソーシャルメディアプラットフォームを介して通信するための十分なスキルを持つスタッフと組織能力はどの程度ありますか？

3）インタラクティブで視覚的な形式の情報を熱心に消費している新進気鋭の若者の聴衆の間で、どのようなMCMコミュニケーションの課題と機会が発生する可能性がありますか？

T 彼 G ラスは A LWAYS G リーナー

C ハプター S IX

Kalocivirに対する信頼が米国全体で悪化し続けたため、英国と欧州連合は共同で別の抗ウイルス治療の承認を発表しました。3月上旬
2026年、英国医薬品医療製品規制庁と欧州医薬品庁は、SPARSを治療するための新しい抗ウイルス薬VMaxの緊急使用を承認しました。VMaxは米国で検討されていましたが、SPARSの発生の開始時に実施された薬物試験では有効性の証拠は示されませんでした。ヨーロッパでのVMaxの承認と宣伝にもかかわらず、FDA、CDC、およびその他の米国政府機関は、カロシビルの供給と配布、およびGMIモデルに基づくワクチンの開発に注力することを選択しました。

英国といくつかのヨーロッパ諸国からのソーシャルメディアの投稿は、
米国の存在と主張
VMaxの利点。承認の発表はまた、すべての主要なアメリカのメディアを通じて配布され、ソーシャルメディアを通じて急速に広まりました。

ヨーロッパ人がVMaxを受け取り始めたとき、彼らは彼らの結果を、良いことも悪いことも、
ソーシャルメディアプラットフォームの数。パンデミックをめぐるこの持続的なソーシャルメディアの話題は、新しいSPARS事件の発生率が減少し始めたとしても、国民の不安が高いままであることを保証しました。VMaxに関する有効性と副作用の投稿は、米国のKalocivirの投稿とほぼ同じでしたが、VMaxの処方箋をオンラインで注文しようとしたアメリカ人もいれば、ヨーロッパに旅行して薬を入手したアメリカ人もいました。

C OMMUNICAT ION D 補題

代替薬の需要への対応
米国では利用できません

F OOD FOR T HOUGHT

1）米国と外国のMCMレビュープロセスを比較する事前テスト済みのメッセージにより、米国FDAと米国CDCは、選択した抗ウイルス剤としてカロシビルを宣伝するというUSGの決定をどのようにサポートできたでしょうか。

2）FDAは、VMaxの使用を避けるようにアメリカ人に助言する必要がある場合、どのような責任がありますか？FDAやその他の公衆衛生機関は、健康を保護するために情報に基づいたMCMの選択を行う際に、どのようにして公衆を最もよくサポートできるでしょうか。

4）地域の公衆衛生および医療提供者は、外国のMCMのリスクと利点に関する患者の質問にどのように対処する必要がありますか？

T 彼 V OICE

C ハプター S でも

2026年5月までに、SPARSに対する公益は衰え始めました。4月下旬に、CDCは最新の致死率の推定値を公表し、SPARSが米国（医療へのアクセスが利用可能であった）の症例の0.6%でのみ致命的であったことを示唆しました。この数字は、SPARSは当初考えられていたほど危険ではなかったというソーシャルメディアで広く表明されている世論と一致していました。Kalocivirに対する疑念の持続と、市販のSPARSワクチンの欠如と相まって、新しい、より低い致死率の推定値は、継続的なSPARSメッセージングに対してますます敵意を抱くようになりました。

国民の無関心を克服するために、CDCとFDAは他の政府と協力して
エージェンシーとそのソーシャルメディアの専門家は、SPARS、Kalocivir、および今後のワクチンであるCorovaxに関する新しい公衆衛生メッセージングキャンペーンの開発を開始しました。このキャンペーンの目的は、SPARSワクチンが導入される今後数か月にわたって、すべての公衆衛生および政府機関が共有できる一連のコアメッセージを作成することでした。この病気は当初考えられていたほど致命的ではありませんでしたが、重症の治療には費用がかかり、軽度の症例でさえ全国の経済的生産性に大きな影響を及ぼしました。

5月下旬に、メッセージングキャンペーンを作成するために設立された省庁間委員会によって3つのメッセージが承認されました。1つはSPARSの性質とリスクに対処し、もう1つはKalocivirの有効性に関するもので、もう1つはCorovaxの予想されるリリースに関するものです。これらのメッセージは、関連するすべての政府機関のインターネットおよびソーシャルメディアアカウントを介して広く共有されました。特定の人口サブグループにさらに到達するために、政府機関の職員は、有名な科学者、有名人、政府職員の助けを借りて、短いビデオやZapクリップを作成し、場合によっては主要なメディアにインタビューを行いました。選ばれたのは前大統領のジャクリン・ベネットでした。人気のヒップなBZee-
ホップスター; Partners in Healthの共同創設者であり、世界的に有名なヘルスエキスパートであるPaulFarmer氏。